

上越高等学校で市内企業出張説明会を開催しました。

11月9日（水）に市内企業出張説明会を開催し、上越高等学校の1、2年生を対象に、2社から会社説明をしていただきました。

この出張説明会は、上越市内の高校生の皆さんの職業理解を促進し、市内企業の魅力に気づき、将来の就職活動に活かしていただくことを目的としています。市内企業が高校で会社概要や事業内容を説明し、地元就職の選択肢を広げる機会を設けるとともに、大学等に進学した後の市内企業へのインターンシップ参加や将来の就職先としての選択や定着につなげるキャリア教育のプログラムとして、市内の高校各校にご利用いただいています。

1社目の田中産業株式会社からは、事業の中核をなす、建設、運送、骨材、農業について、主な業務内容を、トピックスを交え説明していただきました。建設分野では、今回訪問した上越高等学校校舎のほか、上越市立水族博物館うみがたりや高田城址公園陸上競技場などの建設に携わり、大型重機土木を得意としていることがわかりました。また、世界最大のブルドーザーを所有し、重機操縦の競技会では、日本大会1位、世界大会4位となる優秀なオペレーターも育成されているそうです。農業分野では、高田城址公園約4個分の農地を所有し、人工衛星データ、ロボットトラクター、農業用ドローンなどを使うスマート農業を実践しており、ICTを積極的に活用しながら効率のよい事業を目指していると説明いただきました。

2社目のくびき野法律事務所からは、弁護士になるための過程や弁護士の主な仕事、司法制度の概要と刑事事件の手続きの流れを説明していただきました。司法試験に合格するためには法律をすべて覚える必要はなく、条文が書かれている場所やその条文の使い方、実際の裁判での使われ方を覚えるとのことでした。時には法律以外の仕事、身柄拘束中の被疑者から自宅に残してきたペットの世話をどうしたらよいかなど相談されることもあるそうです。パソコンで対応可能な一部の手続きは裁判所への出廷を必要としないなど、裁判もオンライン化が進んでいます。また、被疑者・被告人の弁護をするのは、冤罪を防ぐという役割と、裁判でその罪に見合った罰を与え、罪を償い、更生するまでを一緒に考えるためであると説明していただきました。



田中産業株式会社の説明の様子



くびき野法律事務所の説明の様子

ご協力いただいた企業の皆さま、ありがとうございます。